

大豆 秋播き小麦間作栽培 の雑草抑制効果

－ 1 / 2

2015年 オホーツク 高橋農場

北海道農政部 食の安全推進局 食品政策課 の編集冊子
「有機農業技術のつぼ (パートⅡ)」に掲載されている
(公益財団法人) 農業・環境・健康研究所名寄研究農場の
大豆 除草技術 「秋播き小麦の間作作付けで雑草対策」
という研究成果を当農場の大豆栽培に適用してみる。

∞ ∞

自然農法・有機JAS圃場の無肥料区部分の一部(13a)で試験を行っています。

- 5月19日 播種 黒大豆(黒い瞳) 8.4kg/反
- 5月30日 出芽
- 6月9日 秋小麦13kg播種 ・ カルチ除草掛け
- 7月3日 手取り除草
- 7月12日 カルチ除草 ・ 手取り除草(雑草と共に秋小麦も半減した)



(5月19日)



(5月30日)



(6月9日)



(6月21日)



(7月3日)



カルチ除草前 (7月12日)



カルチ除草後

リビングマルチとしての秋播き小麦は10cm程に成長しているが、多種の雑草が在りすぎるため、カルチ除草を行った。最終的に秋播き小麦の効果を諦めて7月27日に最後のカルチ除草を行いました。その後は、9月に大豆畑の手取り除草を行いました。この時期では種が落ちてしまいます。雑草が在っても種が出来る前に処理出来る様でない…。

大豆 秋播き小麦間作栽培 の雑草抑制効果

- 2/2

2015年 オホーツク 高橋農場

7月21日 除草 刈り払い機

7月27日 カルチ除草



7月23日 刈り払い後



8月2日 カルチ除草後

9月7日 手取り除草 15時間

9月10日 手取り除草 9時間

9月11日 手取り除草 6時間

9月17日 手取り除草 7時間

9月24日 手取り除草 7時間

9月除草時間合計 44時間



10月26日

10月20日 ニオ積み
黒い瞳 2パレット

10月21日 ニオ積み
北海道黒大豆 3パレット

11月18日 脱穀 「黒い瞳 粗原110kg」・ 「北海道黒大豆 粗原150kg」

11月18日 夕方 大豆跡に殻散布 ・ 夜 ロータリーで整地する



11月29日 選別始める

12月12日 黒い瞳 60kg 初出荷

12月16日 黒大豆 選別中

来年も同様の試験を行います。秋播き小麦の播種時期を考えてみたいと思います。そして除草の在り方も。